

議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2024 10

令和6年10月29日発行

No.126

やまのべ 議会だより

2024年10月号 VOL.126

素敵なニットに身を包み



定例会・決算認定	令和5年度の主な重点事業	2～3
決算特別委員会	暮らし向上にどう生かされたか?	4～5
議案審議・臨時会	より良いまちづくりを目指して	6～7
一般質問	町政のここはどうする?	8～10
提言書提出		10
議会活動報告	新しい町への挑戦	11～13
議会報告会「未来を話す会」	よりよい町づくりのために	14～15

写真/WE LOVE YAMANOBE 2024 (関連記事 16ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤庄印刷

あなたの声をお聞かせください

「20歳を祝う会」実行委員の皆さんからひとことメッセージ

人が温かくて見守られている
安心感があります。

みんな仲良しで安全安心なこの町から
出たくないです

アクセスが良くて
暮らしやすい

高齢者の皆さんが優しく
可愛いです

広大な田んぼや山など
豊かな自然が好き

良い意味で静かで虫の声など
落ち着きます

給食に出た瓶の牛乳が
うまかった



—私たちは皆さんの活動を応援しています—
皆さまからいただいたご意見を町政へ反映していきます

表紙の説明



山辺町町制施行70周年記念イベント「WE LOVE YAMA NOBE 2024」が10月14日、山辺町中央公園とその周辺にて行われました。
町内小学校全児童による呼びかけと合唱から始まり、町民参加のニットファッションショーや音楽フェスなどの催しや、公園内ではたくさんのお食べ物や特産品が並び、大勢の人でにぎわいました。
一日通してのイベントでしたが人足は絶えず、夕方6時半過ぎには、中学校グラウンドでプロジェクトランタンマッピングやたくさんさんのランタンが飛ばされ、花火の打ち上げで幕を閉じました。
町民みんなが盛り上がった一日でした。

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、おいしい山辺の実りの秋がやってきました。
町制70周年の今年、日立市友好都市提携20周年をはじめ、ふるさと資料館30周年、また緑ヶ丘コミュニティセンターも10周年を迎えるなど、お祝いムードが高まる年となりました。
それぞれ開催された町民参加型のイベントにはたくさんの方の笑顔が溢れ、議会だよりの表紙はどれにしようか迷ってしまうほどでした。
出来上がるまで苦労もありますが、皆さまに親しまれ手に取ってもらえるよう、委員全員で頑張っています。
遠藤真由美 記

発行責任者 神保 稔
■広報常任委員会
委員長 竹俣 幸一
副委員長 村山 朋美
委員 渡邊 真由美
佐藤 裕二
鈴木 誠也

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>

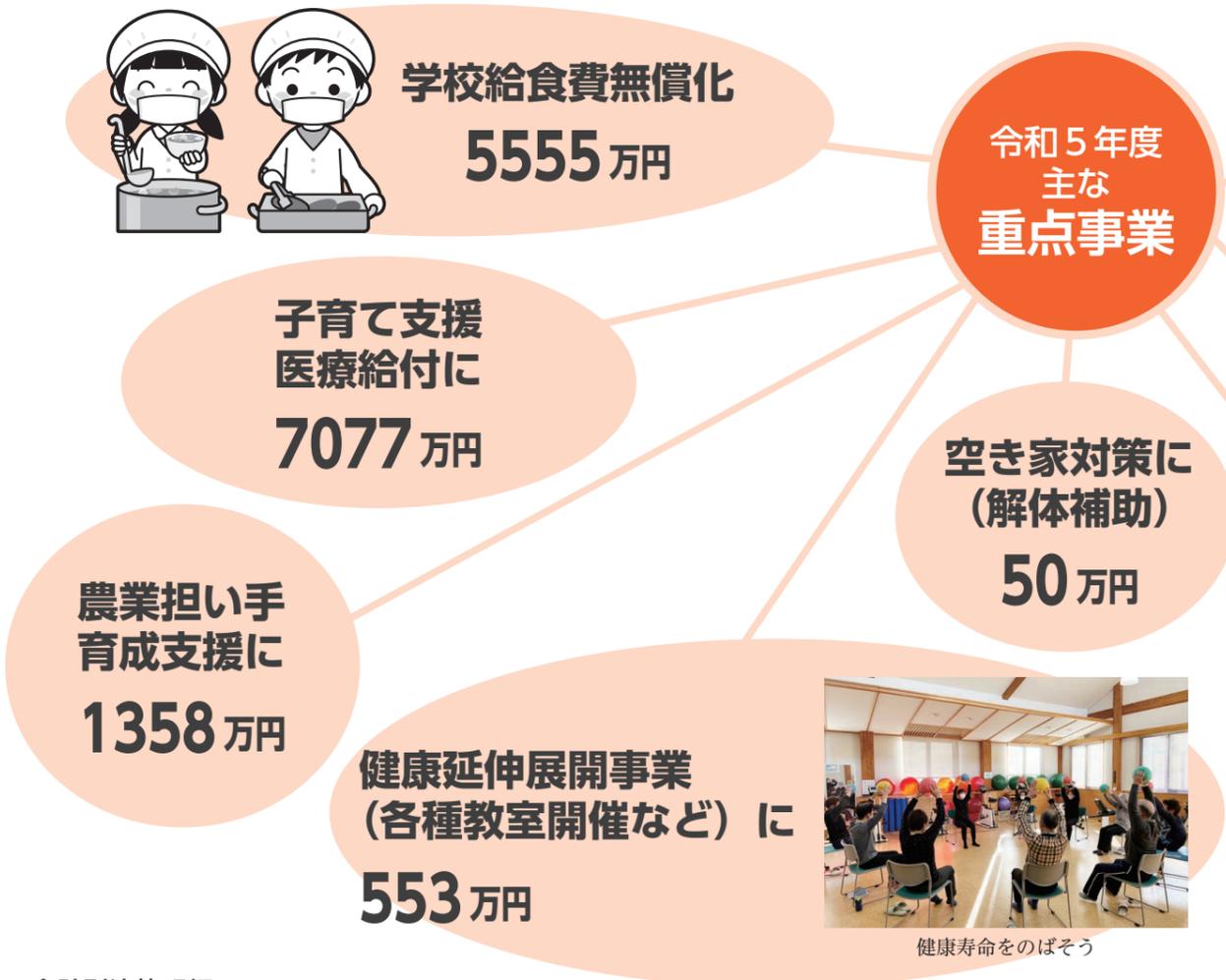


99億2119万円 **認定**

町政発展と町民福祉の向上 行政サービスの充実へ

令和5年度 一般会計・特別会計総額

アフターコロナ



ふるさと応援事業 令和5年度
ふるさと納税額 (企業版含む)
5億6039万円

消防関係
消防団員装備改善に **107万円**
小型動力ポンプ購入に **263万円**
消防事務委託に **2億6310万円**



町の安寧を守る消防団

玉虫沼湖畔公園遊歩道整備などに
313万円

定例会のあらまし
令和6年第3回定例会が、9月9日から9月20日までの12日間の日程で開催され、4人の議員が一般質問を行いました。また、決算特別委員会を設置し、令和5年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算、ならびに補正予算を審議しました。

会計別決算明細

項目	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	71億2529万8606円	68億8888万4575円
特別会計	国民健康保険	13億5610万3591円
	介護保険	15億8058万611円
	後期高齢者医療	1億8350万2412円
	計	31億2018万6614円
合計	102億4548万5220円	99億2119万5822円

公営企業会計決算

項目	収益的収入	収益的支出
簡易水道事業会計	2440万5770円	3657万6029円
公共下水道事業会計	3億5528万4816円	3億5363万5490円

監査委員報告



遠藤 剛 代表監査委員

令和5年度山辺町決算結果は、総体的に、法令・条例及び規則に準拠し処理されており、予算の執行も適正である。歳入においては、収納対策の強化の成果と、ふるさと納税寄附金の継続的な増加など取り組みを評価する。未利用や遊休となっている公有財産については、有効活用や効率的な維持管理の観点から、計画的な運用に努め、財政負担の軽減化を望む。

歳出においては、限りある財源を最大限活用し、効率的で有効性のある施策を展開し、町民ニーズにそったサービスの提供と確保が必要であることから、職員一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮できる職場環境の確保と、常にPDCA*サイクルを意識し、検証と見直し、改善により効率的・効果的な予算執行を図られたい。

最後に、令和5年度においては財政健全化判断比率の将来負担比率もなしとなったが、引き続き、将来の人口を見据えた財政健全化と中長期的な公共施設管理計画に基づく適切な財政管理を望む。

* Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)、この4つを繰り返すことにより継続的に改善していく手法のこと

町民の生活を支える予算 チェック どう使われましたか？

決算特別委員会 Q&A

9月11日に、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に樋口和男議員、副委員長に武田啓一郎議員を選出しました。12日、13日は第一分科会(総務文教関係)、17日、18日は第二分科会(厚生産業関係)の審査を行い、20日の本会議にて全員一致で認定しました。

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・美力発信課 税務課・会計課・教育委員会教育課・議会事務局

Q 今後の各種基金の積極的活用は。

A 学校建設基金と公共施設などの整備基金は、いずれも老朽化を見据えたものであり、ますますの積み増しが必要である。財政調整基金などは災害や感染症の対策費として捉えている。
(総務課)

Q 時代に即した防災放送を検討しはどうか。

A 防災放送が聞こえにくいとの声はある。ダイヤル設定している電話システムを利用することで防災放送を聞くことができ、防災放送設備は老朽化しているため今後に向けて検討していく。
(防災対策課)

Q 男女共同参画事業の内容は。

A 令和5年度男女共同参画状況調査の作成や、推進本部幹事会、推進委員会を開催した。6月の推進月間には庁舎ロビーでパネル展示を、また11月には独自講座を開催した。
(政策推進課)

Q ふるさと応援寄附金はどのような事業に活用されているのか。

A 寄附者の希望に沿って、主に子育て支援医療給付事業、ひとり親家庭、医療給付事業などに活用している。町のホームページで公開している。
(美力発信課)

Q エフエム山形、美力発信番組のこれまでの成果と今後の展望は。

A 視聴者からは、再発見したという声も多数寄せられており、これからも幅広く出演者を紹介していく。
(美力発信課)



収録中の動画もSNSで配信

Q シティープロモーション事業を今後どのように進めていくのか。

A 「山辺町の未来を考える」をテーマに、特設サイトを構築を業者に委託。学校や町の企業と連携しながら町の紹介を随時更新していく。
(美力発信課)

Q いじめの認知件数と対策は。

A の認知件数は小学校184件、中学校35件。令和4年度と比較して微増である。具体的な対策の一つとしては、心のアンケートを中学校では年4



少しの思いやりでみんな仲良く

回、小学校では年2回実施し、地域の方々にもいじめ問題対策連絡協議会からの情報を発信している。
(教育課)

Q 安達峰一郎博士の生家の屋根は今後どうするのか。

A 文化財保護審議会にて現状などを説明した。茅草職人が少なく、見つからなければトタンや銅板でも致し方ないとの意見も伺っている。
(教育課)

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課 農業委員会・建設課

Q マイナンバーカードの保有率を伸ばす対策は。

A 交付率は令和5年3月末で66・1%。令和6年8月末で77・5%。保有率を伸ばすために、高齢者へのわかりやすい呼びかけと安全性の周知に努める。
(町民生活課)

Q 猫避妊・去勢の趣旨と内容は。

A 本来の趣旨は野良猫を増やさないこと。趣旨に賛同した方から協力と負担をいただいている。飼い猫は飼い主の自費となるが、同一年度に1回一定の補助がある。
(町民生活課)

Q 放課後児童クラブの登録者数に対し先生(支援員)は

不足していないか。

A 登録者は211名(長期休暇利用者含み)に対し、先生(支援員など)は基準の8名以上を配置している。施設が募集しているが応募がなく、事業拡大に苦慮している。
(保健福祉課)



児童クラブ支援員によるきめ細やかな配慮

Q 健康延伸事業で運動器具の更新、水中運動の再開は。

A 運動器具は高価であり、まだ使用できるので考えていない。教室の内容については、コロナ禍で休止していた水中運動再開も含めて検討していく。
(保健福祉課)

Q 有害鳥獣対策で捕獲数、自治体間の捕獲手数料のばらつき、ICTの活用は。

A 5年度の捕獲数は、64頭ですべてイノシシ。捕獲手数料は、近隣市町で国の制度を利用しているところもあるが当町にはなじまないと猟友会から回答があった。今後検討する。ICTにつ

いては、最新のシステムを活用している方との情報共有をお願いしている。
(産業課)

Q かおりの広場の今後の活用は。

A 今年度同様摘み取りができるか模索中。まずはラベンダー園の管理をしっかりとる。その先はまだ方向性が定まっていない。
(産業課)

Q 児童遊園の現状と今後の在り方は。

A 利用は少ない。管理は地区の方に協力依頼をしている。今後は地区に呼びかけ、同意が得られれば公園の集約・廃止も検討していく。
(建設課)



美しい田園風景をいつまでも

安全・安心なまちづくりを目指して 議案審議

令和6年度山辺町一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ3億9817万円を追加し
総額69億1751万円に

第3回定例会
9月9日～9月20日

請願2号

請願名	学校給食無償を国の施策とすることを求める請願について		
請願者	山辺町革新懇話会(準備会) 峯田 博		
趣旨	※前回数(No.125)をご覧ください		
紹介議員	日野 一春	結果	継続審査後 採択

請願3号

請願名	パレスチナ・ガザ地区の即時停戦に向けた外交努力を求める請願について		
請願者	山辺町革新懇話会(準備会) 峯田 博		
趣旨	国際社会と協調しながら、ガザ地区の停戦の実現に向けて一層の外交努力を払うことを政府に求めるものです。		
紹介議員	日野 一春	結果	不採択

不採択理由：外交問題は地方議会で決議する場として適するとは考えにくいため

令和6年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

- ふるさと応援事業…………… 3億5702万円の増
- 福祉灯油購入費助成扶助費……………340万円の増
- さくらんぼ高温被害支援事業……………3000万円の増
- 除雪事業…………… 3137万円の増
- 町立小中学校給食費負担金…………… 539万円の増
- 中央および北部、近江公民館の工事請負費…………… 245万円の増



高温被害によりサクランボの双子果が増加した

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	396万円の減	13億9167万円
介護保険特別会計	7234万円の増	17億316万円
後期高齢者医療特別会計	156万円の増	2億1659万円

公営企業会計補正予算

会計名	予算増減	総額
公共下水道会計	(資本的収入)	1億9861万円
	(資本的支出)	3億1846万円

※事業実績見込みによります。

条例の制定

○山辺町犯罪被害者等支援条例の制定(令和6年10月1日施行)
犯罪被害者などが受けた被害者の早期回復および軽減に向けた取り組みを推進するため。

条例改正と規則の変更

○山辺町国民健康保険条例の一部改正
○山形県後期高齢者医療広域連合の規約の一部変更

人事案件

山辺町教育委員会委員の任命に同意
大通雄治氏(山辺)

令和6年12月2日より被保険者証などが廃止されることに伴い変更するもの。

第2回臨時会

令和6年10月7日

歳入歳出それぞれ5838万円を追加し
総額69億7589万円に

第2回臨時会のあらまし

第2回臨時会が10月7日に開催され、令和6年度一般会計補正予算(第4号)を審議し、全会一致で可決しました。

主な補正内容

- 非課税世帯等臨時特別給付金事業に 4761万円の増
- 衆議院議員選挙に 1078万円の増

議会用語

いっぽんしつもん 一般質問

議案と関係なく町政全般について、執行機関に事務の執行状況や方針などの報告や説明を求めたり、疑問をただしたりすることをいいます。

せいさくていげんしょ 政策提言書

議会が将来の山辺町の政策に対する立案を行い、その意思を文章にまとめたものです。取りまとめた提言書を町長に提出し政策の実現を目指します。

これってなに?



おじゃまします!

出前議会

まちづくりについて
地域のおんなことこんなこと
議員と話してみませんか

アイデアやご意見をお聞かせください。
地域の集まり、子ども育成会、会社、各種団体など、
少ない人数でもOKです。

土日、夜でも大丈夫。
ご指定いただいた会場に、こちらから伺います。
お申し込みは、お近くの議員まで気軽に申し付けください。



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ

次回の定例会は12月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)

9月の定例会では、4名の議員が一般質問を行いました。

- 村山 幸一 **行財政改革** 変動する時代 新たな視点で「行財政改革」を
- 日野 一春 **町職員の雇用** 町職員の雇用について
- 三浦 正好 **災害の少ない町** 豪雨災害と防災マップ
- 鈴木 誠也 **財源確保** 財源確保と町活性化 新しい取り組みなどを

行財政改革

新たな視点で「行財政改革」を



村山 幸一 (町長) 財政改革に取り組み

質問 最近の物価上昇により施設管理にも影響を及ぼしているのではないかと、「公共施設等総合管理個別計画」の年度ごとの検証や積算見直しが必要では。

答弁 当計画は、総合的かつ中長期的な計画であり、年度ごとの検証、見直しの予定はないが、進捗状況を注視し、必要に応じて見直しの検討をしていく。

質問 デジタル技術を行う政事務の効率化や住民サービスを向上させる「自治体DX化」の推進に向けた計画を、作成する考えはないか。

答弁 「山辺町DX推進ビジョン(仮称)」の年度内策定に向け、作業を行っている。

質問 現在、未利用の旧校舎(山辺中・作谷沢小中)の管理状況や再運用の考えは。

答弁 定期的に見回り管理している。再運用については、地域の方々の意向を踏まえて、民間の力を借りる



新たな視点で行財政改革を。一老朽した旧山辺中学校舎

質問 行財政改革を進めるには、職員の資質向上とワークライフバランスの推進が必要。職員の人材育成強化に対する考えは。

答弁 人材育成基本方針である「熱意を持って、物事を粘り強くやり遂げる職員」「気づきを大事に、経営感覚とスピード感を持った職員」「自分で自分を育む創造型人材育成に取り組み職員」になることを、全職員が一丸となって目指していく。また、ワークライフバランスの充実を図り、働きやすい環境づくりを推進していく。

町職員の雇用

町職員雇用の現状をうかがう



日野 一春 (町長) 保育士の応募が少ない

質問 町職員の定数は。会計年度任用職員の人数は。

答弁 条例上での定数は147人。令和6年度は124人。会計年度任用職員は80人程度。

質問 労働力不足が顕著にあらわれ、あらゆる分野に影響を及ぼす2024年問題が報道され昨今は政府機関の官僚職に優秀な人材が集まらないと報道されている。町は労働力不足になっていないか。技能を要する会計年度任用職員の募集はあるか。

答弁 令和5年度初級受験者は16人で1人採用、上級受験者は20人で3人採用、保健師受験者は1人で1人採用。全国的に公務員受験者は減少傾向で、近隣自治体でも悩みを抱えているが、当町では受験者の確保ができて

答弁 業務量は増大しているが、職員を増やすことは困難。免許や資格が必要な教育保育士、看護師、保健師、

質問 会計年度任用職員の公募と応募の方法は。

答弁 登録募集を町広報紙やホームページで行い、登録した方から



役場庁舎

災害の少ない町

豪雨災害と防災マップは



三浦 正好 (町長) 防災マップの改定を検討している

質問 過去の水害でも土砂災害が発生していない大寺地区、山辺地区、相模地区の西山にある土砂災害警戒区域について、どう考えているのか。

答弁 県が土砂災害警戒区域などに指定している区域については、町は土砂災害防止法に基づきハザードマップにて周知を行う。地域住民に対して災害時の避難行動の準備などをしっかり促していく。

質問 土砂災害警戒区域ではあるが、災害が発生したことがない地域にある土地の固定資産税を減免する考えは。

答弁 法律上、土質の調査を新たに行ったとしても土砂災害警戒区域の変更はしない。一方で区域の指定は、場所の環境

質問 土砂災害警戒区域

答弁 法律上、土質の調査を新たに行ったとしても土砂災害警戒区域の変更はしない。一方で区域の指定は、場所の環境



防災マップで安全確認を

質問 土砂災害警戒区域の土地を寄付するとの申し入れがあったら受けるのか。

答弁 管理に係る経費などを鑑み、原則受けない。

質問 令和2年の大雨がいた時の予想内水氾濫地域を表示できないか。

答弁 一時間後の予想内水氾濫は出来ないが、令和2年の内水氾濫地域は、来年の改定予定版に反映させることを検討する。

財源確保と町活性化に

新しい取り組みを



鈴木 誠也
(町長) 第5次山辺総合計画を
着実に取り組んでいく

質問 ふるさと納税寄附金の拡大策として、体験型の返礼品選択のすそ野を広げてはどうか。

答弁 他市町村の返礼品ニーズをチェックして、事業を進めていく。

質問 現在施設利用券や食事券など28品目の登録。令和2年度より取り組みを強化。選ばれる返礼品の開発に取り組み。

質問 役場職員のスキル経験を結集し、町の未来のために企業誘致創出策を考えてはどうか。

答弁 企業誘致には前向きに取り組んでいきたい。

質問 行政が先頭に立ち開発の推進強化、農家の方や企業の発掘支援をしてはどうか。

答弁 事業者訪問を実施し、新たな情報交換や登録の推進をしていく。

質問 他市町村の体験型の返礼品の分析、調査をしてはどうか。

答弁 海士町には視察もしている。行政改革は同じ志のもとで取り組んでいる。

質問 企業誘致創出のため、職員の垣根を超えたプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答弁 貴重なご意見として、今後の検討課題としていく。

質問 町の大自然を宝として活用していく構想をしてみてもどうか。

答弁 県民の森の再整備をしているが事業化には至っていない。

質問 玉虫湖畔地域の再生整備は新たな防護柵を設置している。新たな施設の整備は、考えていない。



玉虫湖畔遊歩道の防護柵

議会が「政策提言書」を提出

町の政策が発展的、効率的に行われるよう、各常任委員会で議論し検討してきた政策の方向性を「提言書」に取りまとめ、10月15日 神保議長から町長に提出しました。

1. 大規模災害などの不測の事態に対応できるようにするとともに、基金活用による新たな事業施策の展開を。
2. 「山辺ファン」拡大のために、さらなる返礼品の魅力と発掘を。
3. 甚大な自然災害に備え、自らの命を守る災害対応の備えへの啓発と相互援助の醸成を。
4. 人口減少や地域関係の希薄など、さまざまな課題解決に効果のあるプロモーション戦略を。
5. 社会活動の根幹である公民館活動に対し、積極的な支援を。
6. 社会的に弱い立場の人たちが、デジタル化社会における利便性を共有しながら、取り残されることのない対応を。
7. シニア世代が心身の健康を保ち、生活の質を向上させるための魅力的な事業展開を。
8. 高齢化や担い手不足による農地荒廃の対策として、地域おこし協力隊の活用やスマート農業技術による農業振興を。
9. 町内道路の交通量や危険度を考慮し、県との連携をはかり、中長期的なインフラ整備計画の確実な実施を。

(提言書に則し、わかりやすい文言にして掲載しています)



より良いまちづくりのために

議会活動報告

新しい町への挑戦

厚生産業常任委員会行政視察

玉虫沼周辺を観光拠点に

中山間地域にある、玉虫沼湖畔遊歩道と湖畔荘跡地およびかおりの広場へ、6月28日に行政視察に行ってきました。

玉虫湖畔遊歩道の防護柵整備は、地域住民および観光客の安全性や快適さを向上させる重要な施策です。遊歩道に設置された柵は、湖畔の美しい景観を保ちながらも、安全な散策を提供します。特に、子どもや高齢者が安心して湖畔を散策できる環境づくりに貢献していると思います。玉虫湖畔荘跡地はその後手つかずの状態ですが、玉虫沼周辺の魅力が一層高まるよう、核となる施設など、地域の活性化や観光客の誘客につながる施策を期待いたします。

かおりの広場のラベンダー園は、訪れる人々に四季折々の美しい風景を提供し、地域の観光資源としても注目されています。ラベンダーの香りは、リラクゼーション効果をもたらし、来訪者に癒しのひとときを提供しています。また、ラベンダーの植栽も温暖化により苦勞している現状ですが、地域の景観



玉虫湖畔遊歩道防護柵の現状をつぶさにチェック

改善と環境保全にも寄与しており、観光振興に加えて環境保護の観点からも意義深いプロジェクトだと思われれます。この地が自然豊かなわが町の観光の拠点となるよう、今後の整備、有効活用などに期待しつつ、注視していきます。

東京山辺会

集う心はふるさと山辺へ

東京山辺会総会が、東京消防庁スクワール麹町にて6月23日に開かれ、安達町長とともに、佐藤利和議員と竹俣朋議員が出席しました。

稲村三夫会長からのご挨拶のあと懇親会がスタート。毎年恒例のサクランボがテーブルに並べられると、その大きさと甘さにみんなうっとり。どこに住んでいても集えば心はすぐにふるさと山辺へ。また元氣にお会いできる日を楽しみにしています。



今年も笑顔で再会

町の財産を生かし うるおうまちづくり

県町村議会広報研修

町民に分かりやすい紙面づくりを

山形県町村議会議長会の広報研修会（議会広報クリニック）が7月16日にビッグウイングで行われ、委員会のメンバー5人が参加しました。

講師はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏で、「紙面表現の基本等の講演」と題して講演をいただき、その後各議会だよりの講評をいただきました。

議会広報紙の特性としては

- 1 全世帯に配布される
- 2 手に取ってじっくりと読める・見られる
- 3 複数の紙面を活用し情報ロジックの構成が図られる
- 4 記録紙・保存機能がある

などがあり、それを生かす重要性を学びました。

やまのべ議会だよりは、題字の大きさも見やすく、デザインや色彩の構成もよくできている。また、季節感も感じられると一定の評価をいただきましたが、一般質問のページでは、余白を広げて見やすくする必要がありますのではとの指導をいただきました。



さらに見やすい議会だよりを

今後は

- ・内容を分かりやすく明確に
- ・見やすく読みやすい紙面づくり

をこころがけ、発行に努めてまいります。

また、町民皆さまのご意見なども掲載できるよう努力していきますので、遠慮なく情報をお寄せください。

国道458号改良促進特別委員会

よじやく目に見える形に

県村山総合支庁建設部道路課長 鈴木信康氏と道路整備主任 深瀬賢一氏を講師に迎え、7月23日、中山町野球場南から上宿方面に向かって現地調査をし、その後役場内にて現在の進捗状況をお聞きしました。

将来、国道458号となる山形朝日線の大寺地内から上宿方面は、現在拡幅工事に向け発掘調査などを含め進められています。今後、道路を拡幅し歩道が設置されれば、生徒児童の登下校時の通学路にも利用できます。

町民の皆さんの安全を守るため、いち早く完成が望まれます。

また、現在の458号線、大塚地内の拡幅工事が進められ



拡幅工事が進む山形朝日線

ています。

特別委員会としては、町と共に県に対する重要事業要望事項として、今後も事業促進を働きかけていきます。

議員行政視察

歴史に学ぶ日立市と山辺町の交流

山辺町と友好都市提携20周年を迎えた日立市へ9月26日、27日、行政視察を行いました。

日立市の小川春樹市長の手厚い歓迎から始まり、「議会の活性化（議会報告会・政策提言）について」の取り組みを日立市議会白石 敦副議長と堀江紀和議会運営副委員長から説明を受けました。その他、担い手育成について「茂宮かぼちゃ塾」の説明を受け、どちらも質疑応答の飛び交う有意義な研修会となりました。

その後、山野邊家墓所、助川海防城跡を視察し、日立市と山辺町の歴史の絆を知ることができました。

この研修では、議会活性化や政策提言に関して各委員会テーマを決め、関係団体と話し合いを重ね、政策提言につなげるなど、山辺町議会にも大変参考になる取り組みを学びました。この度の行政視察研修で得たものを必ず役立ててまいります。

ほかに人々の笑顔と優しさ、おもてなしの心を日立市の職員の方々に教えていただきました。私たちも人々をお迎えする心を大切に、「人のぬくもりを感じられる町、山辺」にしていかなければいけないと感じました。



日立市庁舎内で議会活性化の研修を受ける



助川海防城跡で説明を受ける

ふるさと資料館創立30周年

伝統を引継ぎながらも新たな挑戦を

山辺町ふるさと資料館創立30周年記念展オープニングイベントが9月28日、資料館前駐車場を会場に開催されました。会場には、約180人が来場し、神保議長はじめ町議員も臨席し、創立30周年を祝いました。

イベントには、やまのべ太鼓鶴陵による和太鼓演奏、山辺中学校音楽部による合唱、CROWN Cheer & Dance Team によるチアダンスが披露されました。また記念コンサートとして、津軽三味線「高橋兄弟」のライブ演奏があり、重厚で力強い音色に多くの聴衆が魅了され、オープニングイベントを盛り上げました。

新目 巖ふるさと資料館館長は、記念展開催にあたり「多くのファンに支えられ、創立30年という節目を迎えられた。ぜひ来場して町の歴史に触れていただきたい。」とあいさつ。なお、記念展にはふるさと資料館

の秘蔵品が展示されており、来場者は貴重な収蔵品に目を見張りながら、じっくり鑑賞していました。

これからも多くの町民が「ふるさと資料館」、また隣接するふるさと交流センター「あがらっしやい」に気軽に立ち寄り、町の文化、歴史、観光に親しんでいただき、町民の学びの場、ふれあいの場になればと思います。



オープニングを祝う山辺中学校音楽部の皆さん

未来を話す会

第14回議会報告会

テーマ「ずっと暮らしたいまちにするには」



岸部 滋さん
(山辺町老人クラブ連合会)

高齢者の社会参加

Q：高齢者が自動車運転免許証を自主返納した後の対策は。コミュニティバスを有効に利用するにも時間帯などが問題だと思うが。

A：対策として、無料券の期限延長や常時無料を町に要望してきましたが、実現には至っていません。来年度からは平野部でもデマンド化されますので、利用しやすくなると思います。



中 収克さん
(自主防災会連絡協議会)

防災対策

Q：地震による家屋倒壊、河川氾濫による屋内浸水が発生すると、避難所生活が長期化する。避難所運営をどうしていくか。

A：自分の身は自分で守ること、地域のコミュニケーションは大事。避難所運営も自主防災会の協力が必要です。今年、町では総合体育館などの指定避難所へ、エアコン12台を設置しました。今後も施設整備を充実させ、防災対策の強化を要望していきます。

地域福祉

Q：町には障がい者のグループホームがない。早期の整備が必要では。

A：予算面、立地条件、さまざまな条件をクリアするためには、難問が待ち構えていると思いますが、議会としても、町に働きかけて、一日も早く実現できるよう取り組んでいきます。



吉田美智子さん
(山辺町手をつなぐ育成会)

医療費の無償化

Q：町の宝である子どもを安心して育てられるよう、高校生までの医療費の無償化を望む。

A：町では18歳に達した年度末までの医療無償化を実施していますが、議会では、全国一律に平等な医療サービスを受けられるよう、高校生までの医療費を完全無償化とする医療費給付制度の創設を、県と国に強く働きかけています。



垂石 幹男さん
(山辺町文化団体協議会)

災害対策

Q：須川の氾濫区域に、町保健福祉センターなどの福祉施設がある。町民の生活と安全を守るためにも、施設を移転すべきでは。

A：建設前に、議会でも現地調査を行っていますが、その当時は、適地とされていました。すぐの移転は難しいと思いますが、今、須川氾濫防止に向けて流域の河川改修整備が行われており、早期改修を国などに要望し、流域内の施設、住民の安全を確保していきます。



高内たか子さん
(山辺町食生活改善推進協議会)

健康増進

Q：病気にならない予防施策が必要だ。他市では、野菜の摂取量を見える化する「ベジメータ」という機械を健診や学校で活用し、健康増進につなげている。町でも導入できないか。

A：町民の健康づくりは大事。ベジメータの普及、導入について町に働きかけていきます。

観光振興

Q：町の財政を潤すような観光資源をフル活用すべき。町には多くの観光地は原石で磨かれていない。町外の方に足を運んでいただけるような観光整備を。

A：町では「観光振興計画」に基づき、新しい課の創設、情報発信の強化、地域おこし協力隊募集などしています。町、議会、町民が一体となって望ましい観光のあり方を考えていきます。



中谷美智子さん
(一般参加者)



渡辺 進一さん
(一般参加者)

議会運営

Q：議会の一般質問は、政策提言型でなければだめだと思うがいかがか。

A：「町の将来像に対して何が大切なのか」を議員の視点として考え、各議員が活動をし、その中から一般質問をしています。政策提言型の一般質問と同時に、身近な事柄も大きな課題でありますので、各議員が自らの資質を高め、議会運営していきます。

発言のほかに、ご記入いただいた意見要望がありました

- ①羽前山辺駅を、児童生徒の作成パネル掲示や発表会などで、充実させたらどうか
- ②放課後児童クラブの支援員が不足し、受け入れを断らざるを得ない
- ③旧大寺小の利用法を知りたい
- ④役場にあるシンボルの鐘を全町域に流せないだろうか
- ⑤チャドクガの発生で被害が出ているが、町の対策は
- ⑥山辺小の体育館床にワックスをかけて欲しい
- ⑦高温障害で農家は大打撃を受けているが対応は



(紙面の関係上、一部編集して記載しています)

ご参加いただきありがとうございました

未来を話す会（議会報告会）を7月12日午前10時から開催いたしました。今回は初めての試みで、役場庁舎内の本会議場を会場にして、心地よい緊張感の中、37名の町民の方から貴重なご意見やご提案をいただきました。

皆さまから寄せられた声を参考にしながら、各委員会で議論し、見える議会・開かれた議会を実現してまいります。